

令和7年度（1-2月実施）

筑波大学大学院人間総合科学学術院

人間総合科学研究群博士前期課程

教育学学位プログラム

教育基礎科学サブプログラム

入学試験問題

専門科目

【共通問題】

【分野別問題】

【解答方法】

専門科目の問題には【共通問題】と【分野別問題】があります。

■【共通問題】はすべての受験者が解答してください。

■【分野別問題】については、「高等教育論」「道德教育学」の2分野のうち、志望する専門研究分野を1つ選択して解答してください。その際、解答する問題用紙に受験番号を記入し、解答用紙の（ 分野）内に、解答する分野の名称を記入してください。

令和7年度 筑波大学大学院 人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目 (共通問題)

(配点 100 点)

問1 近年、エビデンスに基づく教育の重要性が主張されている。こうした議論の背景や、エビデンス活用の意義や課題について触れながら、教育におけるエビデンスの活用をめぐるあなたの考えを述べなさい。

(解答用紙の「表面」に解答を書くこと。)

(50 点)

問2 日本では近年、不登校児童生徒の数が急激に増加しており、2022年度には小中学校の不登校児童生徒数は30万人近くに達している(文部科学省「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」2023年)。こうした中で、不登校児童生徒を支えていくための環境整備や、これまでの学校のありようを見直していく必要性など、様々な課題が議論されている。こうした議論を整理したうえで、今後の学校教育が目指すべき方向性について、あなたの考えを論じなさい。

(解答用紙の「裏面」に解答を書くこと。)

(50 点)

令和7年度（1-2月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 高等教育論 分野）

（配点 100 点）

問題

東アジア地域の大学間交流はなぜ重要なのか、その交流を活発化させるにはいかなる仕組みが必要なのか、下記の語句を全て用いて説明せよ（語句は複数回使用可で、その順序は問わない）。

- 「東アジア地域である理由」
- 「大学間交流を促進する意義」
- 「短期交流プログラム」
- 「インターンシップ・プログラム」
- 「ダブル・ディグリー・プログラム」
- 「単位互換」
- 「学修成果の可視化」
- 「質保証の枠組み」

【参考文献】

中央教育審議会大学分科会大学教育の検討に関する作業部会大学グローバル化検討ワーキンググループ（2010）「東アジア地域を見据えたグローバル人材育成の考え方～質の保証を伴った大学間交流推進の重要性～」（平成22年6月21日）

令和7年度 (1-2月実施) 筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目 (道徳教育学 分野)

(配点 100 点)

問 題

現在、日本の道徳教育は学校教育全体を通じて行われる指導場面と「特別の教科 道徳」(「道徳科」)を通じて行われる指導場面との両面から行われている。このうち、「道徳科」を通じて行われる指導場面においては、直近の学習指導要領改訂により検定教科書が導入されることとなった。小中学校の教育現場ではすでに、検定教科書の活用が進められているところである。この点に関して、道徳の授業場面における「読み物資料」の活用にあたっては、青木孝頼と井上治郎との間でかつて論争があったが、両者の論にみられるメリットとデメリットについてそれぞれ挙げた上で、今後どのような教材開発が求められるべきか論じなさい。